

後志管内

北海道余市養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒046-0023 余市郡余市町梅川町377番地3
- 問 合 せ 先 TEL 0135-23-7831
FAX 0135-23-6199
E-mail yoichiyogo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - 主体的に学び 活かそうとする 児童生徒
 - 伝え 認め合い 協働しようとする 児童生徒
 - 自分の力を発揮し 社会参加しようとする 児童生徒



□ 概 要

本校は平成3年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小樽市在住の児童生徒を中心に後志管内から児童生徒が通学しています。小学部38名、中学部19名、高等部28名、訪問部教育学級22名の合計107名が在籍しています。訪問教育学級は在宅が4名と北海道済生会小樽病院みどりの里に入所している児童生徒が18名です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、「分かる」「できる」「いきる」指導の充実を目指した学習に取り組んでいます。卒業後の自立と社会参加を目指し、家庭や地域社会等と連携し、一人一人の将来を見据え「生きる力」「生きる喜び」を確かに育むために、「今」の教育の充実を図っています。

寄宿舎には、遠隔地に居住する児童生徒が、7名入舎しています。個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めながら、基本的な生活習慣の確立を目指しています。また、行事への参加や余暇活動を通して心の安定を図り、豊かな生活につながるよう努めています。

■特色ある教育活動

- ア 社会生活に必要な、知識・技能を身に付け、健康な体と態度を育てる。
- イ 積極的に人と関わり、自己を表現し、他者と協力して活動する力を育てる。
- ウ 自ら選択し、意思決定しながら、主体的に社会参加し、豊かに生活する力を育てる。

【 国語、数学 】

国語では、「読む」「書く」「話す」「聞く」、数学では、「金銭」「時間」「計算」など日常生活に必要な基礎的な内容の習得に取り組みます。こうした内容を、実際の生活や具体的な活動と関連付けて学ぶことを大切にしています。

【 職業 】

職業では、作業活動を学習の中心とし、ものづくりの喜びを体感するとともに、将来の職業生活や社会自立に必要な知識や技能、態度や働く意欲を身に付けられるよう取り組みます。

(ア) 製品づくりや製品販売学習を通した、将来の働く生活への意識の涵養やいろいろな人との関わり方に関する力の育成

(イ) 現場実習を通した日頃の学習の成果の確認や、卒業後の生活への関心の育成

(ウ) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方に関する力の育成

【 自立活動 】

自立活動を時間割に位置付け、生徒一人一人の良さや課題に着目しながら、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善するための指導に取り組みます。



地域の高校との交流学习
(トマトの芽かき)



国語



職業：現場実習



総合的な探究の時間



高等部祭：木工製品販売



体育記録会：立ち幅跳び

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動の指導・朝のSHR				
2	国語 /数学	自立活動	国語	自立活動	数学
3	総合的な探究の時間	職業	音楽	生活単元学習	職業
4	保健体育	職業	保健体育	生活単元学習	職業
5	日常生活の指導				
6	生活単元学習	自立活動 ・ 帰りのSHR	美術	自立活動 ・ 帰りのSHR	LHR
7	自立活動 ・ 帰りのSHR		自立活動 ・ 帰りのSHR		自立活動 ・ 帰りのSHR

月曜日2校時の国語/数学は隔週

* 登校時間 8:55 (月~金)

* 下校時間 14:30 (月・水・金) / 13:30 (火・木)

■教育課程の特徴

学校生活で身に付けた力を将来の社会生活や家庭生活の場で発揮できるよう、地域資源を活用し、人々との交流を重視した体験的な学習に取り組みます。また、生徒一人一人の学習状況や到達の度合いに応じた学習活動を行っています。

□ 自立活動の指導

「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」を中心とした指導のほか、生活単元学習や日常生活の指導と関連付け、生徒の良さや課題に応じた学習に取り組んでいます。

□ 各教科の学習

国語、数学、音楽、美術は、学年ごとに指導を行っています。保健体育や職業は、生徒の目標等に応じて、学部全体を複数のグループに分け、指導を行っています。

□ 現場実習

生徒が事業所に通い、作業等を体験しています。

- ・第1学年3日間、学校周辺の事業所で引率実習
- ・第2学年5日間、居住地の事業所で単独実習
- ・第3学年10日間、卒業後の進路希望先で実習

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□福祉的就労～16名

【移行支援・就労継続B型6名、生活介護5名、療養介護等5名】

学校Webページ

